



# にゅーすれたーふじやま・長泉



2014. 6

## 季節の変わり目、いかがお過ごしですか？

パナノニックエイジフリー介護チェーン

東海地方も梅雨に入り、体調を崩しやすい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？私は5月中旬に首や目の周りが真っ赤に腫れ、皮膚科のお世話になりました。原因は不明ですが、毎年この時季になると決まって現れる症状です。もしかしたら花粉や黄砂の影響なのかもしれません。最近はやせのせい目目の具合もあまりよくありません。ただ日常生活に困らないのでお医者さんへ行くべきかどうか迷っています。

**浮島が原自然公園** 5月15日富士市中里の浮島ヶ原自然公園へ行ってきました。私ほうかつにもこんなに整備された自然公園が富士市内にあることを今まで知りませんでした。富士市では湿原の貴重な植物や自然風景を保全し、その自然を観察できる自然公園として、15億円の費用をかけて整備したそうです。むろん浮島沼という名称は聞いたことがあり、ここが沼だったということは承知していました。広さは42000平方メートルで、この時期、全国的にも見られなくなった「サワトラノウ」や「ナヨナヨワスレナグサ」が見られます。「ハンゲショウ」はちょうど6月が見頃だそうです。(今回はまだ葉が白くなっていませんでした)。知られざる観光スポットかもしれません。氷河期の生き残りだという「オニナルコスゲ」その他「ヒメハッカ」「ミツガシワ」「ミソハギ」「ゴキヅル」「シロバナサクラタデ」「タコノアシ」「コシロネ」「ヒメナツキ」など豊富です。富士市自然観察会の山田先生の案内で説明されるままメモしただけなので誤りがあつたらごめんなさい。この近辺には浮島沼トンボ公園大瀬の滝、須津川溪谷などすばらしいウォーキングコースもあります。一見の価値がありますので、梅雨の晴れ間にでも散策してみたらいかがでしょうか。 渡邊啓視



## 左手のピアニスト

ふじやま店の高橋です。6月1日に静岡県作業療法士学会の公開講座を受講してきました。講師は「局所性ジストニア(筋肉が意思に反して収縮し固まってしまう)」という難病にかかってしまい、右手を使った演奏ができなくなってしまったピアニストの智内威雄さんでした。ドイツ留学中に発症し、辛いリハビリを乗り越えピアニストとして復活された方です。お話の合間に左手のみの演奏もあったのですが、左手の楽曲は両手用の曲にない特徴があり、決して見劣りするものではありませんでした。ペダルを踏んでいる時間が長いせいか、一音一音の余韻が長く、音が重なり合うため複雑な印象になります。普段聴いている両手で弾く曲にはない新鮮な感動がありました。お話も、「病気になったおかげで私らしさ、個性という可能性をもたらしてくれた。」というように前向きな話が多く、眠気を感じる暇もありませんでした。私たちは仕事柄、いろいろなご病気と関わっている方と接する事が多いのですが、ご病気について勉強不足なところであったり、その方の目標とする生活についての提案が不十分だったりしています。今後は病気についての理解を深め、その人らしい生活が実現できるように無理のない範囲で提案をしていきたいと考えます。

7月19日(土) ミニHCRには是非、お出かけください。詳しくは裏面をどうぞ

